

協働のまちづくり かわら版

Vol. 11

2009年8月発行

編集：燕市企画調整部企画政策課
〒959-0295 燕市吉田日之出町1番1号
TEL：0256-92-2111（協働のまちづくりG）
FAX：0256-92-2110
E-mail：kikaku@city.tsubame.niigata.jp
URL：http://www.city.tsubame.niigata.jp/

燕市の協働のまちづくりの推進に関する情報をお届けしています。

「第3回まちづくり基本条例市民検討会議」を開催しました。

（仮称）まちづくり基本条例の制定に向けた具体的な取り組みとして、「燕市まちづくり基本条例市民検討会議」の第3回目の会議を8月1日土曜日に吉田公民館で開催しました。

その内容についてお知らせします。

（仮称）まちづくり基本条例の制定に向け、
グループ別会議を継続して開催しています！！

お互いの情報交換と対話を通じて理解を深め、メンバー同士の共通認識や信頼関係を築くため、前回に引き続き、共通のテーマについてワークショップを行いました。

委員の皆さんからは「情報共有できたかな。少しずつわかってきた気がする」「参加したメンバーの考えに共通点が多いことを認識した」などの感想が聞かれました。少しずつではありますが、条例の制定に向け、これからも前進していきたいと思えます。

（仮称）まちづくり基本条例の検討に関する詳しい内容は、市のホームページからご覧いただけます。

ワークショップ

テーマ 「まちづくり基本条例に期待すること」「こんな条例にしたい（したくない）こと」

一人ひとりの条例に対する考えや思いを発表し、みんなで共有しましょう！

今回の会議では、前半部分で前回の会議に引き続き「まちづくり基本条例に期待すること」「こんな条例にしたい（したくない）こと」をテーマにワークショップを行い、前回途中になっていた各グループの意見のまとめの作業を行っていただきました。

その後、各グループで出された一人ひとりの条例に対する考えや思いをみんなで共有するため、グループ別発表を行いました。

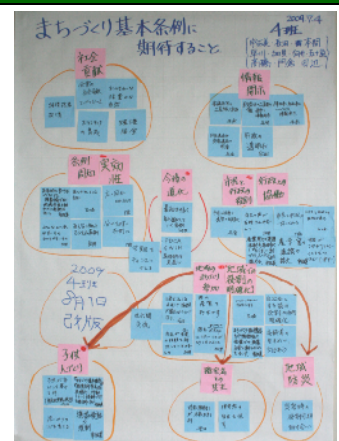
以下、発表順にその発表の概要をお知らせします。



4班の発表 「まちづくり基本条例に期待すること」

発表の概要

- ・実際に実行する、実効性のある条例にしたい・・・条例を周知していく。抽象論ではなくて、市民の皆さんを動かせる条例にしたい。分かりやすい条例にしたい等。
- ・市民と行政の役割を明確化・・・市民と行政が一体となれる条例。
- ・産業界との連携が大事・・・産業界の知識とノウハウを取り入れて、たくましいまちづくり、人づくりを進めたい。
- ・地域のまちづくりへの参加や地域での役割の明確化・・・まちの基本理念や教育立市の理念をきちんと実行していくための役割分担。高齢者の生きがい、障がい者との共生などを大事にしながら地域活動を行う。
- ・今後の進化・・・単に条例をつくるだけでなく、結果を検証しながら困難があってもチャンスに変えていくことが重要。



1 班の発表 「まちづくり基本条例に期待すること」

発表の概要

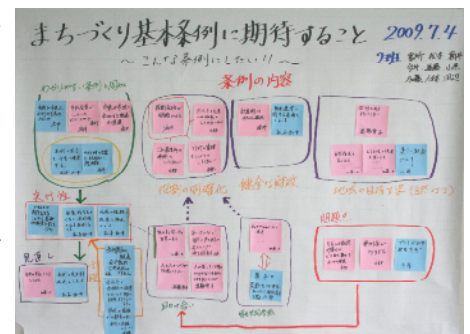
- ・市民が誰でも分かりやすく、親しみやすい条例。
- ・「みんなが分かる条例」…多くの方の目に触れる条例。自治会に参加しやすく、発展していく条例。
- ・「みんなの役割」…市民と行政の役割の明確化。行政の効率化。
- ・「助け合いの条例」…行政、自治会、地域住民との連携。行政と市民が協力してまちづくりに継続的に取り組める条例。
- ・「分かち合える条例」…燕市の良い所やこうあってほしいという意見を集める。財政の健全化。
- ・「元気なまち」…地元企業の発展。文化財の保持・維持に対する事項設定。地域商店の発展。それらを含めた元気なまちづくり
- ・みんなで、このまちをつかっていくということを条例という形で表す。



2 班の発表 「まちづくり基本条例に期待すること」

発表の概要

- ・分かりやすい条例…できるだけ実行できる事項など地域性を考えることが必要。
- ・「役割分担の明確化」、「健全な財政」、「地域の目指す姿」の3つを柱として条例をつくってはどうか。
- ・「役割分担の明確化」…市民と議会と行政の役割。関連して「助け合い」を基本に、市民の声を聞く係の設置の条文。人と人のつながりを密にしたい。人が困っているときにさりげなく手助けできるまちにしたい等。
- ・「健全な財政」…計画的な財政運営。
- ・「地域の目指す姿(自然、エコ)」…個性あるまちにしたい。美しい社会づくり。自然復活を盛り込む。エコ社会の推進を盛り込む等。



3 班の発表 「まちづくり基本条例に期待すること」

発表の概要

- ・分かりやすい条例。
- ・市民が主体となるような、主体性をはっきりしてつくる条例。
- ・「条例の目的」…子どもやお年寄りにやさしい条例、市民と行政の協働の仕組み、財政の健全化等を目的として、まずはつくったらどうか。
- ・「役割分担」…まちづくり協議会、自治会等の役割分担も明確にしたらどうか。行政、議会の役割。
- ・「教育」…地域の地産地消を学ばせるような方向を提示。
- ・「産業」…地域で行われている産業の活用等。
- ・市民参加への取り組みや意見交換の場づくり…市民の参画できるような条例。市民同士、市民と行政など、意見交換できるような、場づくりができるような条例。



5 班の発表 「まちづくり基本条例に期待すること」

発表の概要

- ・最終的に条文を作成する責任を持っている市の職員に市民からお願いする分野…分かりやすい文章、その作り方など。
- ・全てを市に任せるということではなく、それぞれ市民だけで話し合っていくことができる分野…市民が話し合っただけでできることは市民でやっという意味合いを条例に盛り込む。市に頼むものと市民だけでできるものの明確な区分が分かる条文にしたい。
- ・条例には理論だけではなく、具体的なものが内容として盛り込まなくては、市民に受け入れられないということ。
- ・できあがった条例に責任を持てるグループを市民と運営していくことで、条例をつくった後にも、具体的な話し合いにより進化していく条例にしたい。



各グループの発表の講評 (アドバイザー) 新潟大学大学院実務法学研究科准教授 馬場 健さん

条例への思いは共通

発表を聞いて、どの班も話の骨子や意見がそう大きくズレなかったことがお分かりになったと思います。各グループの発表は、内容的に2つの意見があったと思います。

各主体の役割分担

それは、まちづくりにおいて役割分担を上手く考えようということ。それが制度化されたら良いのではないかと皆さんが思っているということです。「市民」と「行政」との関係をどのように構築するのかということが、皆さんの一番重要な論点であったと思います。

わかりやすい条例

また、それを実現していく上で、わかりやすい文章にしてほしいと皆さんが思っているということです。

条例を考える上で一番頭の部分

まちづくりにおける目的の明確化や地域の目指す姿、方向性という意見がありましたが、燕市は、まちをどのようにしていきたいのか、どういうまちになっていきたいのか、市民と行政との関係などを通じて、まちをどのように運営していったら良いのかということが上手く規定できたら良いのではないかと考えています。

今後の議論の進め方について

今後は、発表のあった意見を皆さんで共有したということを前提として、議論していただきたいと思います。皆さんが、かなりの部分で共通の認識を持ちながら議論されたということが分かっていたのが、非常に良かったのではないかと考えています。

旗揚げアンケート

テーマ 「市民参画と協働とは」



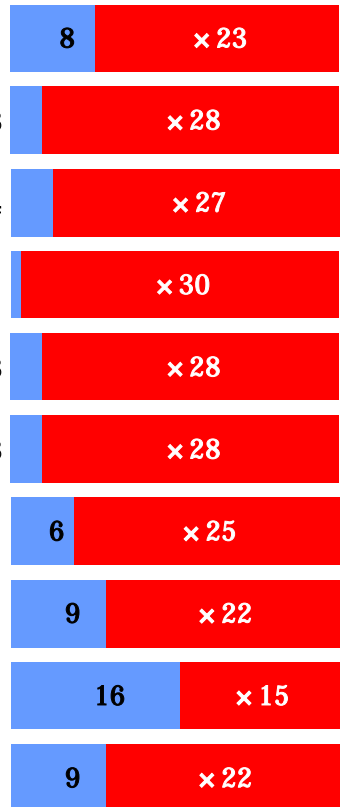
市民参画と協働、できているかな？

今回の会議では、旗揚げアンケートで市民参画と協働について、皆さんのイメージを確認するゲームを行いました。委員の皆さんからは、「できている」と思う場合は **の札**を、「できていない」と思う場合は **×の札**を掲げていただきました。さあ、この集計結果からどんなことが見えてくるのでしょうか。

質問

- Q1. 市民は、まちづくりの担い手として主体的にまちづくりに参加してきたと思いますか？
- Q2. 市が行う政策等の「企画や立案」の部分に、市民は十分に参加できていたと思いますか？
- Q3. 市が行う政策等の「実施や実行」の部分に、市民は十分に参加できていたと思いますか？
- Q4. 市が行う政策等の「評価」の部分に、市民は十分に参加できていたと思いますか？
- Q5. 市が行う行政活動について、意見を言ったり参加したりする場や機会が十分に用意されていたと思いますか？
- Q6. 市民の意見や要望がしっかりと市の行政活動に反映されてきたと思いますか？
- Q7. 市は、行政活動について市民に対して十分に説明を行ってきたと思いますか？
- Q8. 市の情報は、市民に分かりやすく、十分に伝わっていたと思いますか？
- Q9. 市内で市民活動や地域活動は、活発に行われていたと思いますか？
- Q10. 市に関わるすべての人達は、お互いに助け合い、連携し、協力してまちづくりを行っていたと思いますか？

結果



旗揚げアンケートまとめ（アドバイザー）新潟大学大学院実務法学研究科准教授 馬場 健さん

集計結果から見えること

旗揚げアンケートの結果は、ご覧のとおりマイナスのご意見が多いということが見えてきます。なぜ、マイナスになるかと言えば、アンケートに「十分」「しっかり」という言葉が入っていますので、「やっているかもしれないけれど十分ではないかもしれない」という思いが皆さんにあったのではないかと思います。

面白いのは9番目の質問で、半数以上の16人の方が、活発に市民活動や地域活動が行われていると思ったこと。それを踏まえて10番目の質問を見ると、市と市民活動や地域活動が繋がっていないようにも見えます。この両方だけを見ると、市民活動は、ある一定程度の水準で行われているけれど、それをつなぐメカニズムが燕市の場合は、どうやら不足しているのかもしれないということです。

市民参画と協働に関する議論のポイント

これから皆さんが議論をしていただくポイントとなるのが、そういう「つながり方」で、市民と行政との間をどうやってつないでいくのかということを考えていただくということが、まちづくり基本条例で実現していくべき価値であると思います。もう1つのポイントは、この質問の「十分」とか「しっかり」という言葉とは、どういう状態のことを指すのかを考えながら議論をしていただけると良いのではないかと思います。それを実現していく上で、どういう仕組みがあったら良いのかということの切り口として考えていただきながら、今後も議論を重ねていただければと思います。



ワークショップ

検討項目 「市民参画と協働によるまちづくりに必要なこと」
～市民と行政がキャッチボールできる方法を考えましょう～

「市民参画」「協働」の現状を見つめ直し、みんなで共有しましょう！

後半の会議のテーマは、まちづくり基本条例の柱となる、検討項目の1番目の「市民参画と協働のまちづくりに必要なこと」です。皆さんから宿題として考えてきていただいた「市民と行政のつながり（参加、連携・協力）の場面や現状」について、自由に意見交換を行っていただきました。

今回のテーマに関する各グループの意見の発表とまとめは、次回以降の市民検討会議で行います。



まちづくり基本条例市民検討会議の開催日程

第4回 市民検討会議

日時：平成21年9月5日(土)9:30～

場所：中央公民館 中ホール(3階)

会議はどなたでも傍聴できますので、興味のある方は、ぜひお越しください。

事務局の説明から

次回の会議では、引き続き「市民参画と協働によるまちづくりに必要なこと」をテーマに、「市民と行政のつながり（参加、連携・協力）の場面や現状」について、それぞれの場面で困っていることや課題・問題点を、意見交換を通して掘り起こしていきます。

課題や問題点についてグループの意見がまとまったら、その解決方法や仕組みをみんなで考えます。

編集後記

第3回市民検討会議の当日、会場では冷房が故障していて…。皆さん、暑い中、汗だくになりながら更に熱いご意見をいただきありがとうございました。今回は、前回の会議のテーマについて引き続きワークショップを行い、各グループのまとめや発表を通して、一人ひとりのまちづくり基本条例への思いを共有しました。皆さんのまちづくりへの思いや考えを伺うとても良い機会になったと思います。今後も皆さんとの協働作業を通じ、お互いに議論しながら進むその道のりが豊かなものになるよう進めていきたいと思っています。(す)